



2019年12月

第294号

The Service Club of The YMCA

東京八王子 ワイズメンズクラブ

会長 並木 信一
副会長 花輪 宗命・久保田貞視
書記 多河敏子・長谷川あや子
会計 小口 多津子
直前会長 久保田貞視
担当主事 中里 敦
プリテン 山本 英次・茂木 稔
大久保 重子・多河 敏子

国際会長 Jennifer Jones (オーストラリア) 主題 Building today for a better tomorrow スローガン On the MOVE!! 「さあ動こう!!」
アジア太平洋地域会長 田中博之 (東京多摩みなみ) 主題 Action 「アクション」
スローガン “With Pride and Pleasure” 「誇りと喜びを持って」
東日本区理事 山田敏明 (十勝) 主題: 勇気ある変革、愛ある行動!
副題: みんなで力を合わせて、1・2・3
あずさ部部長 赤羽美栄子 (松本) 主題: あなたの入会時の“ときめき”と多くの経験をワイズのために!
クラブ会長 並木信一 主題: 誰かに、何かに、必要とされたい!

12月例会プログラム (クリスマス例会)

日時: 12月21日(土) 17:20~20:30
(担当: A班 小口、中里、並木真、古市、眞野、長谷川)
会場: 大学セミナーハウス
参加費: メン 2,500円 ネット・ゲスト・ビジター 3,500円
学生 1,500円

◇ 第一部 さくら館セミナー室A 17:20~18:00

受付: 小口、長谷川(開始 17:00)

司会: 小口多津子 奏楽 永町匡世さん

開会点鐘 並木会長
ワイズソング 一同
ワイズの信条 一同
キャンドル点火
讃美歌 90番
聖書・祈祷 並木会長・一同
奨励「橋を架ける」 並木会長
讃美歌 114番
黙祷
キャンドル消灯
東京YMCA報告 担当主事 中里
報告・連絡事項 会長・担当者
閉会点鐘 並木会長

◇ 第二部祝会 本部多目的ホール 18:30~20:30

司会 中里
演奏 永町匡世さん
開会挨拶 並木会長
ゲスト・ビジター紹介 並木会長
あずさ部部長挨拶 赤羽美栄子さん
中大ひつじぐも挨拶 川村 拓さん
乾杯 直前会長・久保田
会食

◇ 祝会

みんなで楽しく
マンドリン演奏 みんなで歌おう♪
ハッピーバースディ 並木会長
スマイル(多摩いのちの電話のために) 古市
閉会 並木会長

先月の例会ポイント (11月)

		BFポイント	
在籍	16名	切手(国内・海外)	0g
メン	13名	累計	520g
メイキャップ	0名	現金	0円
出席率	81.3%	累計	0円
メネット	3名	スマイル	15,450円
ゲスト	0名	累計	37,923円
ビジター	1名	オークション	0円
ひつじぐも	6名	累計	0円

今月の聖句 (2019年12月)

上からの知恵は、なによりもまず、清いもので、さらに平和、公正、従順なものです。また、憐みと良い実りに満ち、偏見も偽善もありません。義の実は、平和をもたらす人たちによって平和のうちに蒔かれます。

(新約聖書・ヤコブの手紙3:17~18)

巻頭言

中大ナイトを主催して・

これからの八王子ワイズとの結びつきについて

ひつじくも2年 水口 愛美

今年も、11月9日(土)に中大ナイトを開催させていただきました。私自身何かの司会を務めるのは初めてで、至らない点も多くあったかと思いますが、ご協力いただきありがとうございました。中大ナイトが開催されるのは今年で8年目ということで、八王子ワイズメンズクラブの皆さまとの交流を続けることができ、嬉しく思います。

私がひつじくものワイズ係として活動に関わらせていただいているからもうすぐ1年が経ちますが、街頭募金やチャリティーコンサート、毎月の例会を通して、さまざまな貴重な体験をさせていただきました。

街頭募金をしたのはワイズでの活動が初めてで少し緊張しましたが、募金してもらったときは嬉しさを感じました。また、チャリティーコンサートでは、とても多くのお客さんが集まっています。驚いた記憶があります。それまで私が知らなかっただけで、思ったよりもたくさんの方がチャリティーの活動に協力しているということがわかりました。これらの活動でチャリティーを運営する側に携わったことで、私自身も募金やチャリティーイベントに協力しようという意識が高まりました。

そして、毎月の例会ではいろいろなところで活躍されている方々のお話を聞くことができ、とても勉強になっています。お琴の演奏、茶の湯のお話、宇宙開発のお話など、今まで知らなかったことを知ることができ、いつも例会の後には少し賢くなったように感じます。

このような機会をひつじくもに設けてくださる八王子ワイズメンズクラブの皆さまには感謝の気持ちでいっぱいです。いつも私たちをあたたかく受け入れてくださり、ありがとうございます。今後とも、ひつじくもとの交流を続けていただければ幸いです。私も、より多くのメンバーがワイズの活動に参加するよう呼びかけていきたいと思っています。

APAY 大会に参加して

2年 川村 拓

夏休み中の7日間 APAY 大会に参加しました。8月31日から9月1日までは東京の国立オリンピック青少年記念センターで開催されたユースのみの集まりであるユースアッセンブリーに、9月2日から6日までは東山荘で開催されたジェネラルアッセンブリーに参加しました。

私は、大会を通してほかの国々の YMCA や日本の他の YMCA の活動について知り YMCA についての理解を深めるとともに、自分と異なるバックグラウンドを持つ人たちと英語を用いて社会問題について話をしてみたいと思いこの大会に参加しました。

ユースアッセンブリーでは特にラーニングセッションで小グループに分かれて各国の社会問題について情報交換したことが特に印象に残りました。私が日本の労働者不足と外国人労働者の受け入れについての話をしたところフィリピンから来た参加者がフィリピンでは雇用が不足しており日本などに労働力を輸出しているという話をしてくれました。この話を聞いて、私は一見すると日本固有の問題に思われることも外国の問題とつながっていたりするのだと感じ、国際的な視点を持つことや問題の背景に着目することが重要であると考えました。

ジェネラルアッセンブリーでは基調講演が特に印象に残りました。スティーブン・リーパー氏の平和についての講演でした。“平和文化”という考え方についてのお話で、現在の世界は、利益を追求する“戦争文化”の状態にありそこから脱却すべきというお話であった。その第一歩として核兵器の廃絶を行うべきと主張されていた。この話を聞いて私は今日の自国優先主義的な政治の流れがまさに“戦争文化”に当てはまると感じました。

APAY 大会では普段なかなか関わることのできない、遠方の学生 YMCA のメンバーや都市 YMCA のメンバー、また海外の YMCA のメンバーとかかわることができ貴重な機会となりました。ほかの YMCA の活動について知ることによって中央大学 YMCA の今後の活動について考えることができました。

今回の参加を通じてかかわった人たちと今後も交流を続けていきたいと感じました。



タイスタディーツアーに参加して

ひつじくも 2年 水野谷 里美

8月25日～29日の間タイのスタディーツアーに行きました。前後の1日は移動だったので活動日は実質3日間でした。

パヤオセンターは、タイ北部を中心に、「子供とその家族を人身売買および商業的、性的搾取から守るための生活向上プログラム」を行っており、現在は、7歳から18歳までの計33名の子供たちがセンターで共同生活をしています。

このツアーでの主な活動としては、人身売買および子供の商業的性的搾取(CSEC)についての勉強会を行ったり、YMCA パヤオセンターの子どもたちと遊んだりしました。勉強会はセンターの子どもたちが置かれている状況とタイで今起きている問題について学びました。実際にそういった問題と向き合っている方からこうしたお話を聞けるのはとても貴重な経験だったと思います。

子どもたちとは一緒に晩ご飯を食べお互いが用意していたゲームで遊んだり、タイの曲に合わせてダンスをしたりしました。タイでの1つ1つの活動どれもが、私たち参加者にとってかけがえのない時間となりました。

パヤオセンターで暮らしている子のほとんどは人身売買やCSECの被害にあうリスクが高いため、自分が住んでいた家を離れて生活しています。そんな事情を抱えながらもパヤオセンターで暮らす子どもたちは、思いやりに溢れた子たちばかりで、私たちは沢山の元気と優しさをもらいました。そして、お互い言葉が通じなくとも言葉の壁を超えて楽しい時間を過ごすことが出来ました。

このスタディーツアーの最大の魅力は子どもたちと同じ施設で一緒に生活できる事だと思います。子どもたちと楽しいことを共有し、様々な経験をさせていただきました。

タイに来てみないと分からないことが沢山あったと思うし、タイの人身売買の現状は勿論のこと、タイの文化や生活も知ることが出来ました。

今度行く機会があればもっと子どもたちに楽しんでもらえるような企画をたくさん用意して、楽しい時間を一緒に過ごせたらいいなと思います。



熊本被災地支援

和崎竜也

昨年度の春休み、被災地支援及び被災地学習として熊本を訪問した。移動日も含めて4日間の日程で2日目に農業ボランティアを、3日目にはこどもキャンプでのボランティアを行った。全体で4名、ひつじくもからは私1名が参加した。

この訪問の目的は学生ができる範囲内ではあるが、被災地の一つである阿蘇地域の農家の人手不足を解消すること、そして震災から3年が経過した被災地の現状、復興の過程についてボランティア活動を通して学ぶことであった。

ボランティア活動では、仮設住宅の子供たちのためのキャンプの手伝い、そして現地の農家での農業ボランティアを行った。

仮設住宅は6畳一間で壁も薄く、また遊ぶ場所も少ないため子どもたちにとってとてもストレスのたまる環境であり中には突然錯乱状態になってしまう子や、暴力的になってしまう子もあり、そうした子たちにのびのびと遊んでもらうためのキャンプであった。キャンプ中も実際に少し暴力的な子たちおり苦労したが、一時的でも子どもたちのストレスを解消できたのではないかと思った。

農業ボランティアでは、特に震災後は人手不足が深刻であるということを学んだ。その原因として道路の再整備や電車の路線変更により交通網が遮断され人を雇いづらくなってしまったこと、そして震災前は農家を手伝ってくれていた東海大学の学生が震災によるキャンパス移転によって震災後は手伝えなくなってしまったがさらに、余震などのリスクを避けようと人々が安全な場所に移住してしまうことが人手不足をより一層深刻化させていると知った。ボランティアによって学生4人で農家の方の約1か月に相当する仕事を終わらせることができ、可能な限りではあったが農家の方の役に立つことができた。日本は地震大国であり、実際熊本地震の後にも北海道や広島で地震が起きている。いつ自分たちが被災者となるかわからない日本においては実際に被災地に赴きその現状を学べたことは将来起こるかもしれない地震に対してどのように対応していくべきかを考える機会となり、大変有意義な時間となった。



準備がこまかい西東京センター「秋まつり」

小口多津子

今年のYMCA 西東京センター・秋まつりは、11月4日(祝)に、場所は東京 YMCA 医療福祉専門学校でありました。クラブ参加は武蔵野多摩クラブ、東京八王子と多摩みなみクラブでしたが、3クラブが合同の行事はこれしかありません。中でも武蔵野多摩クラブはメンバー総出で張り切り、今年テーマが「縄文時代」といって、縄文時代の衣装を着て駄菓子屋とか子供の遊び場を提供していました。お客の子供と縄文人がゲームをして、子供が勝つと駄菓子が2個もらえ、負けると1個しかもらえない遊びでした。子供の声より縄文人の声の方が大きくはしゃいでいました。多摩みなみクラブは野菜販売の「フリーマーケット」でした。クラブメンバーの野菜博士、藤田 智先生の指導によって育てた立派な野菜達、里いもなど見事な商品です。他にも一つ、お茶の先生で、4月に八王子クラブで卓話をして下さった、深尾香子さんのお茶室が設けられて、お薄とお濃茶の二つが選べて、和菓子はクラブメンバーの自家製の芋やかんでした。

八王子クラブは中里さん、長谷川さんと私の参加でしたが、沢山のバザー品を目の前にして、値付けと売り子をしました。場所が奥の部屋だったので客足が悪く、とにかくお客が来ません、でもそこは助け合いで、売り方にひらめいた人が出て、なんとこの日、丁度やっていた駅前大通りの国立まつりの会場の中にブースを持っていた多摩みなみクラブの野菜販売、その横に、何人かで、さあ一つと品物を運んで下さり、持っていった物があつという間の売れ切れてしまうといった、3クラブ合同の良さが、こんな所に現れました。

この秋まつりの準備には、西東京センターのスタッフが、近隣のマンションや住宅に「秋まつりチラシ」を配布するポスティングをしました。センターの仕事が終わる夕方からリーダー達やスタッフが国立の住宅を回りますが、その回数はなんと6回にも渡ったそうです。

わくわくヴィレッジ正面玄関前の 春の球根各種植えつけ作業

茂木 稔

高尾のわくわくヴィレッジ正面のロータリーに、春咲きの花々の球根を植えつけることになりました。以前より前任館長の佐藤信也さんが熱心にそれを推進したいと私に提案していましたが、残念ながら土質の悪いことと、雑草の茂り方が酷いので躊躇してきたのですが、今回古市館長の希望と、また

まワイズ会員の中に種苗会社の方が加わった事に依り、多量の球根を安価に入手出来る事が可能になりました。最初の植え付け予定日は最初の11月25日は雨で中止、27日にも朝から細かい雨でしたが、これより遅くなると開花に大きく響くので、作業を実行することにしました。

当日、私と家内で近隣の知人の桧皮さんを誘い、久保田さん宅に迎えに行き、予定の10:00時より5分前に着きました。既に並木会長は来ておりました。

そこからは直ちに作業です。ヴィレッジ側からも2名の若い人の応援があり、日本芝の茂った土をスコップと鍬で土を掘り起こしが始まりました。先日、私が行って試し掘りをした折には、黒土が出て来たので安心していたのですが、10cm以上掘ると山土の粘土が出て来ました。この土は花作りには全く向きません。しかし、ビレッジの方が小型の耕運機を持って来てくれて、これに依り土をかき混ぜて25cm程土を掘りました。牛糞と化学肥料を散布してそこに球根を植え付けます。

先ず、春一番3月始めにまっ先に咲く黄色のクロッカスの球根を200球近く植え、他の色の白、紫をびっしりと植えました。その隣には3月中旬から咲き出す水仙の各種を3条にて植え込みました。これらが咲き誇る春の日のことを暇に描いての作業です。その隣には4月初旬から咲き出すチューリップの茎が短い物を植えて、全体では7mほどの半円形となるように带状に植えつけて、12:30に全体の作業をおえることが出来ました。また、空もラッキーなことに、やや明るくなり雨も降らずに済みました。

しかし大きな問題があるのです。というのは此処には夜、猪が出るのだそうです。球根を食べられると大失敗に終わります。奥のテント場の近くでは、夜テントの宿泊者が怖がって館内での宿泊のことも有るのだそうです。そう言えば私が下見に行った折にも、ピオトープの近くでは猪が最近掘って、ミズを探した跡が沢山見られました。

しかし来春はヴィレッジに入ると花々の出迎えがある景色を楽しみに待ちましょう。今回球根を植えた場所は本館前であり夜の明かりもある所なので多分大丈夫でしょう。

当日の作業に携わってくれた方々は、並木会長、久保田、茂木、並木 真、桧皮(茂木友人)、茂木メット、ヴィレッジ2名の8人でした。皆さんが良く働いてくれました。しかし、私は翌日は腿が痛くなり、その翌日は腰が痛んで困りました。

やはり、何と言っても若い年齢の新しい会員が必要であることが肝にめいじて実感しました。

西東京センター便り

YMCA 西東京センター 館長 中里 敦

寒いと思えば、暑かったりと温度調整が難しい気候ですが、暦の上では12月1日にアドヴェントを迎え、街はクリスマス一色になってきました。イルミネーションが灯り、赤と白のサンタの衣装も見かけるようになり賑やかです。そんな賑わいの中、この秋の台風で被害にあった方々はどのようにクリスマスを迎えるのだろうかと思いをさせます。その様とき、11月の終わりに学生、リーダー、スタッフなど総勢15名で、長野にワークボランティアに行ったときの西東京センターから参加した池端さんの感想を思い出しました。感想の一つに「災害を受け入れようとする姿や、前向きに生きる被災者の姿に元気をもらい励まされた」というものがありました。私たちがボランティアしたお宅は全壊という被害でしたが、この感想を読んで、全ての方がそうではないかもしれませんが、神様は被災者と共にいて乗り越える力を与えてくださっているのだと感じました。同じ気持ちでクリスマスを迎えられないかもしれませんが、御子イエスを与えてくださると喜びが共にあることを信じて、クリスマスを迎えたいと思います。そして、池端さんが「東京でできる支援をこれからしていきたい」というように、風化することなく支援を続けていければと思います。

また、西東京では12月に入り冬のスキーキャンプに向けて準備をしています。今年の冬は暖かいという予報を聞き、雪不足が心配です。寒いのは苦手ですが、スキーキャンプのことを考えると寒くてもよいので雪が降ってほしいと毎年思います。楽しみにしている子どもたち、そのために準備を懸命にしているリーダーのためにもよい環境でスキーを満喫してほしいと願います。

中大ひつじぐも便り

「大学対抗！ゴミ拾い甲子園」

中大1年 石毛杏奈

11月30日土曜日、私たち中央大学国際ボランティアサークルひつじぐもは、梅島駅周辺の西新井橋で行われた、豪田ヨシオ部様主催、荒川クリーンエイドフォーラム様共催の、「大学対抗！ゴミ拾い甲子園」に参加しました。

これは、いろいろな大学のボランティアサークルが集まり、それぞれ5人1組のチームに分かれて、90分間で西新井橋下流に落ちているゴミを協力して集めるという、ゲーム感覚で環境保全に貢献することができるという企画です。ゴミの種類によってポイントが割り当てられており、終了後にポイントを計算して、最もポイントが高かったチームが優勝となります。これまでに39団体1600名以上の学生が参加していて、今回で13回目の開催となり、10団体が参加しました。

この活動は、「持続可能な開発目標(SDGs)」の中の1つである、「海の豊かさを守る」という開発目標に繋がっています。荒川の清掃活動を行うことによって、その先の世界の海や島の自然環境を守ることとなります。

大会当日は天候にも恵まれたので、気持ちよくゴミ拾いを行うことができました。私は今回初めてゴミ拾いの活動に参加したのですが、川辺にこんなにも多くのゴミが落ちているとは思いませんでした。プラスチック片やビニール類、空き缶、ペットボトルなどのゴミが大半だったのですが、自転車や原付バイクなどの大きな粗大ゴミもあり、とても驚きました。

終了後、それぞれのチームが集めたゴミを1つの場所に集め、大量のゴミ袋や粗大ゴミが並んでいるのを見た時、「この1つの活動が、世界の環境を守ることに繋がっているんだな」と実感しました。

この活動は、マイボトルやエコバッグの持参など、ゴミがでることを未然に防ぐような、自分1人でもできる環境保全に積極的に取り組もうと思うきっかけになり、とても良い経験でした。

今月の聖句によせて(2019年12月)

12月、イエス・キリストの降誕を喜び、祝う時、心に浮かぶ言葉は、誰にとっても「平和」ではないでしょうか。ユネスコ憲章の前文には「戦争は、人間の心の中で始まるものであるから、人間の心の中に平和の岩が建設されなければならない」という文章があります。人間の心の中にある独善的な自己主張、排他的な自己中心主義等が様々な場面で対立の原因になっています。これに対して、信頼をもって赦しあい、互いの善意をもって理解し合うことない限り、紛争は絶えません。

アルゼンチンとチリの国境、アンデスの山の上に、巨大なイエス・キリストの像が立っていることは知られています。アルゼンチンとチリで国境問題が発生、戦争が避け難い状況になり、両国はそれぞれ武器を増強して、戦意を高揚し、戦争準備に狂奔していました。そのような時、アルゼンチンの教会は戦争に反対し、平和への祈りを人々の間に広げていきました。民衆はこれに応じて、政府に平和的な解決の要求を強めていきました。これを知ったチリの教会でもアルゼンチンの教会に呼応して、平和への祈りを広げ、戦争回避の要求を政府に訴えました。両国の政府は、結局、この国民に圧倒されて、両国間で協議し、平和的な解決を図ることになり、両国の大砲を鑄潰して、これをもってキリストの大きな銅像を建立しました。戦争を抑止し、平和を生みだした人々の熱い祈りを永久に記念するためだということです。1904年のことです。

(ちなみに先頃来日され、日本人に平和への熱烈なメッセージを残された、フランシスコ、ローマ教皇はアルゼンチン出身で、南米からはじめて教皇に就任された方です。)

並木 信一

報 告

2019年11月第二例会 報告

▼日 時:2019年11月30日(土)18:00~19:30
▼出席:A. 小口・長谷川・並木(真) B. 花輪・久保田・並木・福田 C. 茂木・山本・多河

報告・確認

1. 11月第1例会

日時:11月9日(土)18:00~20:00 場所:北野事務所
 ・中大ひつじぐもナイト
 ・わくわくビレッジ「花壇づくり」11月27日(水)10時~12時30分 *参加者 茂木、茂木メネ、茂木メン友人、久保田、並木(真)、並木、わくわくスタッフ
 ・12月クリスマス例会(第1例会)担当A班 日時:12月21日(土)17時20分~20時30分 大学セミナーハウス
 受付・1部 さくら館 2部 本館食堂
 会費:メンバー2,500円、メネット・ゲスト・ビジター3,500円
 ひつじぐも1,500円 スマイル:「多磨いのちの電話」
 出席予定者:**A班** 小口、長谷川、中里、古市、並木(真)
B班 久保田、久保田メネ、花輪、福田、並木、並木メネ
C班 大久保、茂木、山本 **ビジター** 赤羽、金井(松本)、神谷メネ(東京西)、田中、田中メネ(東京多摩みなみ)
ゲスト 永町、酢屋、岡垣、柳原 **中大ひつじぐも** 川村、水口、水野谷、恩田、原部、稗川 以上29名
 ・12月第2例会 日時:12月28日(土)18時
 ・1月第1例会予定の確認(担当B班) 日時:1月25日(土)18時~20時 北野事務所
 ・西東京YMCAユースリーダー感謝会=武蔵野・多摩クラブ&八王子クラブ合 日時:2月12日(水)19時~
 会場:西東京YMCA
 ・2月第1例会予定確認(担当C班):日時:2月22日(土)18時~20時 北野事務所
 ・街頭募金 3月7日(土)八王子駅北口前、道路使用許可手続きは並木が担当。
 ・第22回チャリティコンサート
 3月14日(土) 北野市民ホール
 ・実行委員長 久保田メン *チラシ・ポスター・チケット配布 *整理券1,000円
YMCA・他クラブ・部・区等
 ・西東京YMCAファミリークリスマス 12月8日 東京YMCA 医療福祉専門学校 長谷川メン参加、クラブからこのファミリークリスマスのため1万円の献金
 ・「クリスマス in0422」12月14日(土) カトリック吉祥寺教会
 ・あずさ部 部大会:12月14日(土)13時~17時30分 於 松本市深志斎館 クラブから、久保田、長谷川、小口、花輪、並木の5名が参加予定
 ・在京ワイズ新年会:1月11日(土)14:00~18:30 :東京Y体育・保育学校:会費5,000円

参加予定者は、長谷川、久保田、茂木、並木の4名。

- ・「東日本区Change! 2022」シンポジウム
日時:2020年2月1日(土)13:00~16:30 会場:東京Y社会体育・保育専門学校参加予定は、久保田、並木
- ・東京・東京むかで、東京たんぽぽの3クラブ合同例会
会費 2000円 日時:2020年1月14日(火)18:30~20:45
会場:東京YMCA 東陽町センター 講演:前川喜平氏「新時代の教育を考える」-憲法26条はどうなるのか-
花輪メンが参加を表明。
- ・高雄港クラブ創立20周年慶祝大会:2020年3月7日(土)
久保田さんが訪問予定
メンバーでカードに寄せ書きをし、久保田メンがお土産とともに持参する。

絹の道デザイナーサービスセンター ボランティア活動

【報告】11月11日(月)14:00~15:00 手工芸
 参加者:赤羽、石井、下重、山口、山中、茂木
 【予定】12月16日(月)14:00~15:00 手工芸

わくわくビレッジ 12月号 館長 古市 健

11月も終わり、施設内の木々は赤や黄色に色づいて人々の目を楽しませながらも、また短い時間でその葉を落としてきております。例年のごとく、施設内の木々は揃って間もなく裸木となり、都心よりは少し長く厳しい冬の到来を感じることでありそうです。

10月は台風対応など、通常の業務を超えた想定外の出来事に翻弄もされた月となりましたが、11月は穏やかに、いつも通り多くのお客様をお迎えできる月となりました。例年通り、特別支援学校の皆様の利用が多く入り、多くの活動プログラムもご利用いただきながら、それぞれ楽しい思い出に残る時間をお過ごしいただけたことと感じております。特別支援学校をお受けする私ども館としては、やはり特別な配慮が必要になってくる場面が多くあります。お食事を通常にはお召し上がりになれない方には、後期食などの形態食でご用意をし、また、アレルギーの問題は命にも関わることで、慎重な打ち合わせを要します。またお体が不自由で当館の大浴場に入ることが難しい方々には、大浴場とは別に「ゆったり浴場」をご用意し、お風呂に入らせていただきます。手前味噌になりますが、このようにここまで特別支援学校のニーズにきめ細やかに対応する宿泊施設は、なかなか存在していないのが現状です。特別支援学校を中心として、お体が不自由であったりといった理由でなかなか宿泊体験ができないようなお客様に、安心して安全にご利用いただける宿泊施設として運営していくことが、当館の一つの使命だと思っております。今後も引き続き、どなたにとっても利用しやすい施設を目指し、スタッフとともども一生懸命取り組んでまいります。

12月のお誕生日

古市	亜由美さん	12月2日
多河	敏子さん	12月6日